

第 10 回 長野県私学振興大会を開催

第 10 回長野県私学振興大会を、飯田市のシルクホテル（錦繡）において開催しました。

開催日時：令和 7 年 12 月 23 日（火）13：30～15:45

大会テーマ：「今こそ私学のチカラを～未来をひらく新たな学び～」

参加者：233 名（うち来賓 20 名）

I 式典

公益社団法人長野県私学教育協会 安藤善二 副理事長の開会のことばの後、長野県私学教育協会 窪田英一 理事長が主催者挨拶を行いました。



開会のことば 安藤副理事長



主催者挨拶 窪田理事長

来賓の皆様より祝辞をいただきました。



長野県議会副議長 中川博司 様



飯田市副市長 高田修 様

その後、ご臨席いただいた来賓各位のご紹介のほか、頂戴した祝電メッセージを披露しました。

Ⅱ 生徒等に対する理事長表彰

優れた功績を上げた生徒等に対する理事長表彰受賞者 38 個人・団体のうち、代表で 4 団体の皆様に窪田理事長が表彰状を授与しました。

その後、受賞者の活躍の様子が写真等で紹介され、受賞者による活動発表やパフォーマンスが行われました。

また、司会は、飯田女子高等学校生徒会の 2 名が担当し、受賞者にインタビューを行いました。

(1) 表彰状授与



司会：飯田女子高等学校生徒会

① 認定こども園 慈光幼稚園 年長 もみじ組、きく組 代表



② 飯田コアカレッジ 代表



③ 飯田短期大学 献血ボランティアサークル 「救血機」 代表



④ 飯田女子高等学校 チアリーディングクラブ 代表

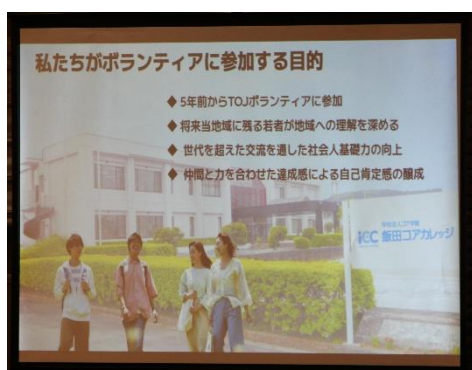


(2) 活動発表・パフォーマンス

① 認定こども園 慈光幼稚園 年長 もみじ組、きく組



② 飯田コアカレッジ



③ 飯田短期大学 献血ボランティアサークル 「救血機」



④ 飯田女子高等学校 チアリーディングクラブ



Ⅲ 保護者のねがい・副知事のことば

長野県私立高等学校PTA連合会 鹿熊 弘 会長が「保護者のねがい」を皆様にお伝えした上で、来賓として臨席いただいた関昇一郎 長野県副知事に手渡し、関副知事からおことばをいただきました。

最後に、長野県私立短期大学協会 田村俊輔 理事長が閉会のことばを述べ、大会は盛会のうちに幕を閉じました。



保護者のねがい 鹿熊PTA会長



保護者のねがいを関副知事に手渡し



関副知事のことば



閉会のことば
田村 私立短期大学協会理事長

保 護 者 の ね が い

皆様方には、平素より私学教育の振興、発展にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

我が国は今、かつてないほどの少子化が進むとともに、子どもたちを取り巻く環境においても、ＩＣＴ、ＡＩの進展など、社会構造の大きな変化に直面しております。

また昨今、国際情勢は不安定さを増し、国内では諸物価が高騰するなど、子どもたちの学ぶ環境は厳しくなる一方で、私たちの家計にも少なからず影響を及ぼしています。

しかし、そのような状況の中でも、子どもたちは困難と向き合い克服しながら、勉学や学校生活に励んでいます。子どもたちが主体的に深い学びを実践し、自らの進路をたくましく切り拓き、将来、社会の担い手として活躍できるよう成長することが、私たち保護者の何よりの願いであります。

私たちは、私立学校が独自に掲げる建学の精神に基づいた特色ある教育に賛同し、子どもたちが私立学校に進む道を選びました。これからも私たちは、世帯年収や居住地にかかわらず、子どもたちが自ら選択した私立学校で、等しく質の高い教育を受けることができるよう切に願っております。

ご来場の皆様方には、本日この舞台でご覧いただきました私学に学ぶ子どもたちのはつらつとした姿を深く胸に留め、困難な時代に立ち向かう私立学校と保護者、そして何より未来を担う子どもたちを支援するため、次の事項についてご理解・ご協力を賜りますとともに、各私学団体がまとめました要望事項の実現に格別のご配慮をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 誰もが主体的に学ぶことができる環境づくりをさらに進めるため、教育費全体を増額するとともに、公私間格差を是正し私立学校の経営の健全化を図るため、県内の私立幼稚園、小・中学校・高等学校及び専修学校等に対する経常費補助金の増額をはじめとした、私学に対する財政支援の一層の充実をお願いします。
- 2 県内高等学校卒業者が、県内の大学・短期大学・専修学校等で学び、県内で働くことができるよう長野県として積極的な支援をお願いします。

令和7年12月23日

第10回長野県私学振興大会 保護者代表
長野県私立高等学校PTA連合会 会長
鹿 熊 弘